

「夢への挑戦」町の将来像を学ぶ



▲生徒からの質問に対し鈴木町長が直接回答するなど対話が行われました

令和8年度1学年くずまきゼミの第1回が6月10日、勇往会館で行われ、47人が受講しました。

この日は鈴木重男町長が講師を務め、自身が携わった数々の取り組みの経験から、町が持つ機能や魅力を紹介。夢や目標の実現に向けては「成功事例や先進的な取り組みを見て分析することが大切」と生徒にアドバイスする場面も見られました。上家崇雅^{すいが}さんは「町の目指すべき将来像が学べた。その実現に向けて探究学習を重ねながら理解を深めていきたい」と今後の学習に対し意欲を見せていました。

主権者として社会への関心高める

3学年対象の主権者教育講座が6月17日、グリーンテージで行われ、36人が受講しました。

講師を務めた総務省主権者教育アドバイザーの布佐明彦さんが、選挙の意義や投票にあたってのポイントなどを解説。講義を踏まえて行われたワークショップでは、各立候補者の公約などを整理し、模擬投票では実際に1票を投じました。本田ひかりさんは「選挙が行われるときは今回の講義を思い出し、主権者として責任ある行動をとっていきたい」と感想を述べ、主権者としての自覚が芽生えた様子でした。



▲模擬投票で大事な1票を投じる生徒

本年度初めての考査が6月11日から16日に行われました。1年生にとっては入学して初めての考査、2年生も希望の進路実現に向けて大切な考査です。そして3年生。就職志望の生徒にとっては、3年生の成績評価として企業に示されるもので、進学志望の生徒にとっても、推薦などに関わる非常に重要な考査でした。考査1週間前には部活動が停止され、いつも以上に勉強に励む生徒の姿が目立ちました。先生への質問や、友だちと一緒に勉強する場面も多く見られました。

新たな学年で迎える初めての考査！

就職志望・進学志望
両者にとって
重要な考査でした！

高校生記者レポート



今月の担当
角 紅春 さん (3年)



好成績を目指して勉強に励む生徒たち

今回の考査を通して、苦手な分野など自分なりに整理できました。その苦手を克服できるようにこれから頑張っていきたいです。そして、進学を志望する3年生にとっては、次の考査もとても重要になります。気を抜かずに、日頃から勉強に励んでいきたいです。